

2026年6月3日（第1.3版）

帯広厚生病院整形外科に、通院又は入院したことがある患者さんまたはご家族の方へ

（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 末梢神経ワーラー変性部での好中球細胞外トラップ発現の探索

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究代表者名・所属] 角家 健・北海道大学大学院医学研究院
運動器先端医学分野特任准教授

[研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]

| | |
|----------------|------------|
| 帯広厚生病院 | 本宮 真・大瀧 雅文 |
| 順天堂大学医学部附属浦安病院 | 市原 理司・田中 裕 |
| 札幌東徳洲会病院 | 佐藤 和生・山崎誠治 |
| 市立釧路総合病院 | 梅本 貴央・森田 研 |

[研究の目的]

ヒトの末梢神経損傷例の神経組織を用い、好中球細胞外トラップ※（neutrophil extracellular traps, NETs）発現の有無を組織学的に検討すること。

※好中球細胞外トラップとは異物に対する生体の免疫反応の一部で、近年末梢神経の再生過程への影響が注目されています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

末梢神経損傷の患者さんで、当院で治療を受けた方のうち、「末梢神経ワーラー変性部での好中球細胞外トラップ発現の探索（帯広厚生病院実施許可番号：2023-048）」という研究に参加し、研究目的で検体を保管することに同意された方。なお、今回新たに実施する研究と以前ご参加いただいた研究は研究課題名が同じですが、類似研究ではあるものの、別の研究となっています。

○利用する検体・情報

検体：末梢神経組織

情報：診断名、年齢、性別、診断名、受傷日、手術日、術式、合併症、併存症、検体採取日時

○送付方法

この研究は、上記の研究機関で実施します。上記の検体は、組織学的解析のために、北

2026年6月3日（第1.3版）

北海道大学（北海道大学院医学研究院専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科学教室）に宅配便で送付されます。上記のカルテ情報は、患者情報の解析のために、北海道大学（同上）に、電子的配信で送付されます。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始:2024年8月頃)~2029年3月31日(登録締切日:2028年3月31日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院（帯広厚生病院）の連絡先・相談窓口]

北海道帯広市西14条南10丁目

帯広厚生病院 整形外科 担当医師 本宮 真

電話 0155-65-0101 FAX 0155-65-0105

[研究代表機関（北海道大学病院）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 整形外科 担当医師 遠藤 健

電話 011-716-1161 FAX 011-706-6054